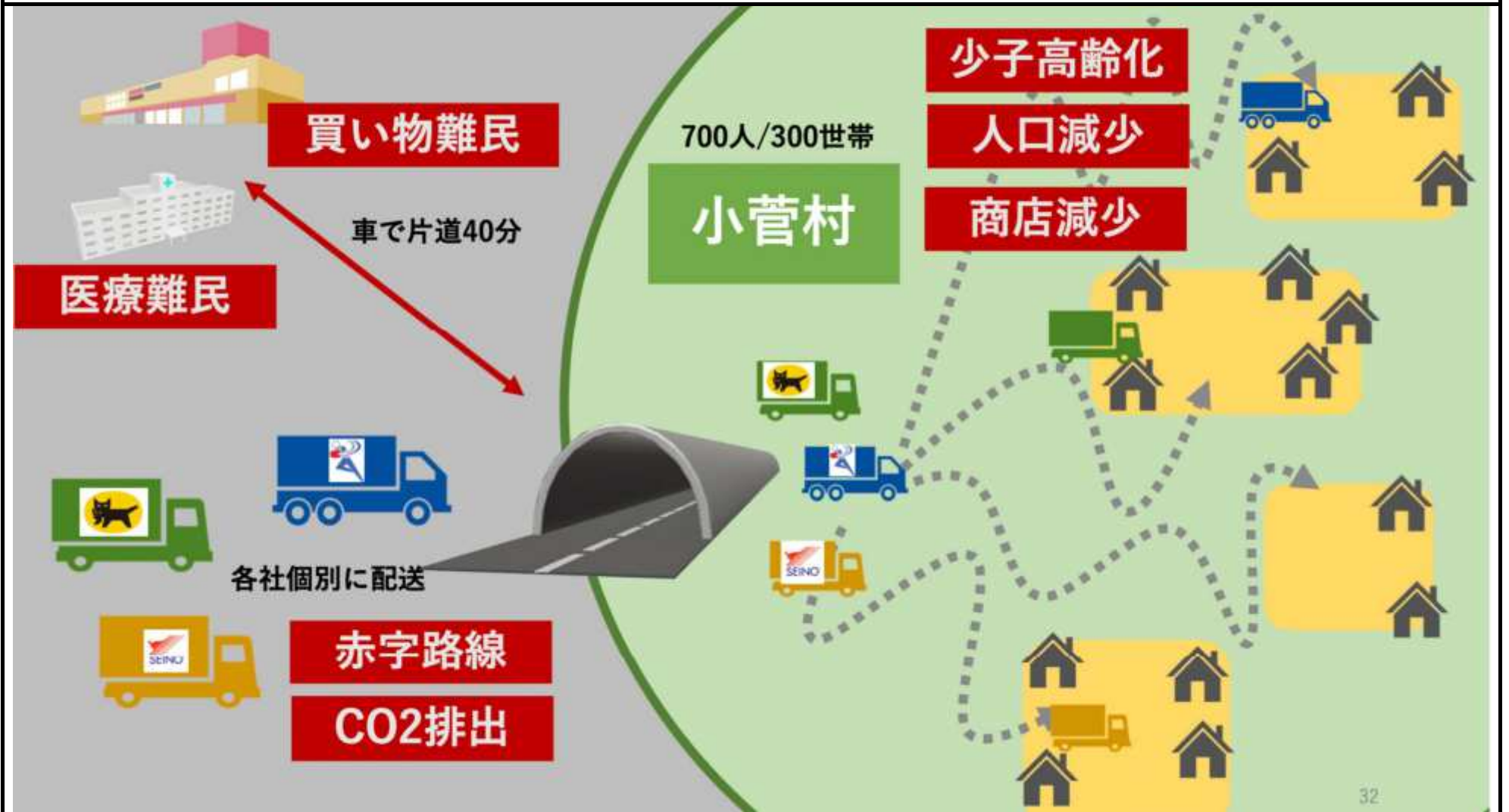


推薦調書（実装部門）

表彰区分	実装部門	推薦都道府県	山梨県
地方公共団体名	小菅村		
取組名称	過疎地域におけるドローン物流サービス		
連携自治体、企業、団体等	セイノーホールディングス株式会社、株式会社エアロネクスト、株式会社 NEXT DELIVERY		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野） 物流
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○小菅村は、地域の物流にドローンを活用。物流倉庫「ドローンデポ」に地域の荷物を集約して地域物流を最適化。すべての荷物をドローンで運ぶのではなく、多量・重い荷物は車が運び、少量・軽量の荷物はドローンが運び、物流を効率化。</p> <p>○小菅村は村内に商店（小売り店）が2店舗しかなく住民は日々の買い物に不便を感じている。この地域物流の仕組みに、買物代行サービスを加え、地域の買物課題の解決を進めている。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○小菅村は、ピーク時の人口から 1/3 に減少し、人口減少対策として、小菅村地方創生総合戦略では、高齢者や子育て世代の買い物の支援・強化が急務としている。</p> <p>○そこで、令和2年11月12日に、エアロネクストと連携協定を締結。</p> <p>協定では、ドローン配送導入による農業・観光・産業・経済の振興や地域雇用等を位置付け、協定に基づき、令和3年4月にドローン定期配送を開始し、買物代行サービスを開始した。高齢者のみならず、忙しい子育て世代の利用も増えている。</p> <p>【解決する課題の具体的内容】</p> <p>○買物課題</p> <p>車の運転や時間の確保が難しい高齢者や子育て世代の買物が課題。</p> <p>自治体の多くは市街地から離れた中山間地を抱え、買物課題は全国共通の課題である。</p> <p>○担い手不足</p> <p>近年、労働力不足が課題であるが、特に物流業界の運転手不足は深刻。ドローン配送の拡大により運転手不足をカバーする。</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>ドローン配送件数 270件（ドローン配送実績 国内1位） お買い物代行件数 585件</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>○陸送とドローンを組み合わせて地域の物流を最適化しているため、ドローンが飛べない強風時は陸送し、配送の信頼性を確保。</p> <p>○物流各社の荷物を「ドローンデポ」に集めた共同配送も実施し、地域の物流全体を効率化。ドローン配送単体では、法規制等により採算制実現まで時間がかかるが、効率化した地域物流の一部をドローンが担うことで、トラック運転手不足を解消し、地域で採算を確保する。</p> <p>○買物代行のデータを蓄積し、「ドローンデポ」にあらかじめ在庫をストックすることで、注文から最速30分で配送するドローンによるオンデマンド配送を実現。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>○公共交通のコスト削減</p> <p>地方の公共交通は自治体負担で成り立っているが、人口減少により負担が増大。現在、路線バスとの貨客混載の実証を進めており、貨客混載も仕組みに入れることで、バス運行経費負担を軽減する。</p>

「過疎地域におけるドローン物流サービス」概要図



買物代行



ドローンデポ®



ドローン配送



ドローンスタンド®

SkyHub
こすげ

配送業者



配送業者



配送業者



共同配送

(OPP)



フードデリバリー

貨客混載



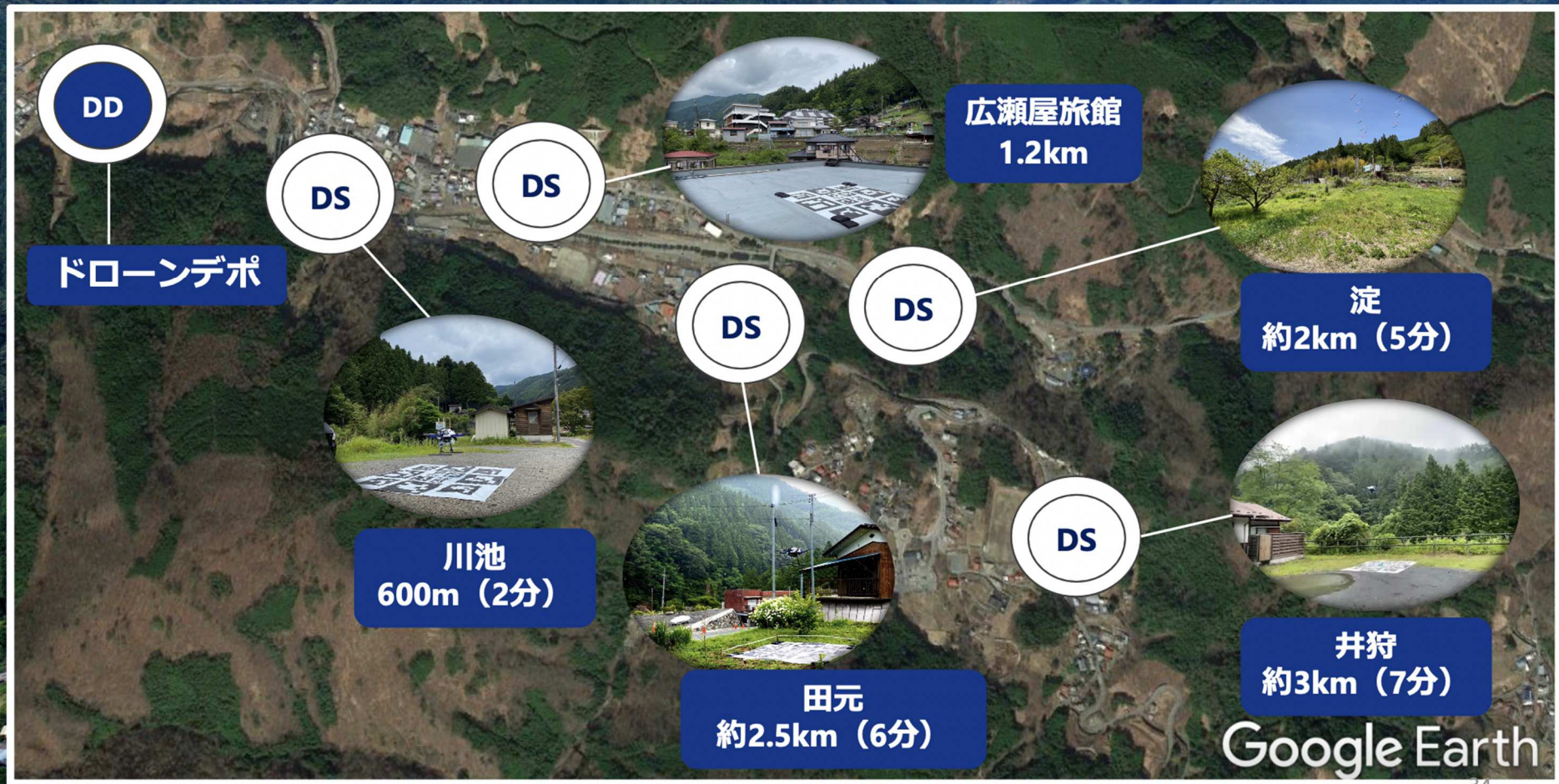
小菅村での提供サービス

【サービス内容】



ターゲット (エンドユーザー)	住民・観光客		物流会社・バス会社
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早く届けて欲しい ・ 災害時の物資輸送 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物負担の軽減 ・ 入手困難商品の入手 ・ 従業員との会話 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤字路線の負担軽減 ・ 収益の多様化

2022年5月のドローン定期運航ルート



Confidential

DD:ドローンデポ DS:ドローンスタンド